

# 中国

# 日本

(1) 康熙38~39年

朔	中気	月配当
1699/7/27	処暑[28]	7
1699/8/25		閏7
1699/9/23	秋分[1]	8
1699/10/23	霜降[1]	9
1699/11/21	小雪[2]	10
1699/12/21	冬至[1]	11
1700/1/20	大寒[1]、雨水[30]	12
1700/2/19	春分[30]	正
1700/3/21		2
1700/4/19	穀雨[2]	3

## 置閏法明確化

- ・冬至を含む月を11月とする
- ・連続する冬至月の間隔が13か月の場合、間にある中気のない最初の月を閏月とする (この時点ですでに萬年書200年分を、一連の無中気月の最初のものを閏月にして出版済み)

(3c) 嘉慶18~19年

朔	中気	萬年書	頒曆
1813/8/26	秋分[29]	8	8
1813/9/24		閏8	9
1813/10/24	霜降[1]、小雪[30]	9	10
1813/11/23	冬至[30]	10	11
1813/12/23	大寒[29]	11	12
1814/1/21	雨水[30]	12	正
1814/2/20	春分[30]	正	2
1814/3/22		2	閏2
1814/4/20	穀雨[2]	3	3

## 萬年書改訂

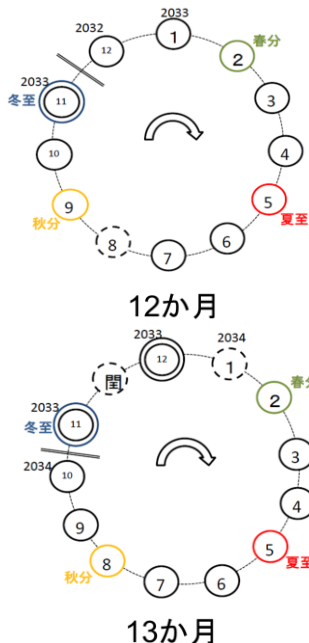
- 置閏法明確化前に200年分まとめて編集し出版されていた萬年書をルール通りに改訂 (一連の無中気月の最初のものを閏月にして冬至が11月にならない最初の事例)

(5c) 咸豐元~2年

朔	中気	頒曆
1851/8/27	秋分[28]	8
1851/9/25		閏8
1851/10/24	霜降[1]	9
1851/11/23	小雪[1]	10
1851/12/22	冬至[1]	11
1852/1/21	大寒[1]、雨水[30]	12
1852/2/20	春分[30]	正
1852/3/21		2
1852/4/19	穀雨[2]	3

## 時憲無訛

- 明確化した置閏法をルール通り実施 (農暦ルールで13か月中の無中気月の最初のものを閏月にして春分が2月にならない事例は西暦2728~2729年までない)
- 農暦ルールのままで、千年以上にわたって常に、閏月を置く13か月の区間の中の冬至は11月・春分は2月になる。



(2) 安永4~5年、乾隆40~41年

朔	中気	試算(農暦)
1775/8/26	秋分[29]	8
1775/9/25	霜降[29]	9
1775/10/24	小雪[30]	10
1775/11/23		閏10
1775/12/22	冬至[1]、大寒[30]	11
1776/1/21		12
1776/2/19	雨水[1]	正
1776/3/20	春分[1]	2
1776/4/18	穀雨[2]	3

(3j) 文化10~11年

朔	中気	試算(農暦)
1813/8/26	秋分[29]	8
1813/9/24		9
1813/10/24	霜降[1]	10
1813/11/23	小雪[1]、冬至[30]	11
1813/12/23	大寒[29]	12
1814/1/21	雨水[30]	正
1814/2/20	春分[30]	2
1814/3/22		閏2
1814/4/20	穀雨[2]	3

(4) 天保3~4年、道光12~13年

朔	中気	試算(農暦)
1832/8/26	秋分[29]	8
1832/9/24	霜降[30]	9
1832/10/24		閏9
1832/11/22	小雪[1]	10
1832/12/22	冬至[1]、大寒[30]	11
1833/1/21	雨水[30]	12
1833/2/20		正
1833/3/21	春分[1]	2
1833/4/20	穀雨[1]	3

(5) 嘉永4~5年

朔	中気	頒曆(農暦)
1851/8/27	秋分[29]	8
1851/9/25	霜降[30]	9
1851/10/25		10
1851/11/23	小雪[1]、冬至[30]	11
1851/12/23		閏11
1852/1/21	大寒[1]、雨水[30]	正 12
1852/2/20	春分[30]	2 正
1852/3/21		閏2 2
1852/4/19	穀雨[2]	3

(6) 西暦2033~2034年

朔	中気	農暦
2033/7/26	処暑[29]	7
2033/8/25		8
2033/9/23	秋分[1]	9
2033/10/23	霜降[1]	10
2033/11/22	小雪[1]、冬至[30]	11
2033/12/22	?	閏11
2034/1/20	大寒[1]、雨水[30]	12
2034/2/19	?	正
2034/3/20	春分[1]	2
2034/4/19	穀雨[2]	3

三省堂出版『日本百科大辞典』(第六巻,1912)の「太陰暦」の項

## 置閏法条文

- (五) 曆月中冬至を含むものを十一月、春分を含むものを二月、夏至を含むものを五月、秋分を含むものを八月とする。
- (六) 閏は中気を含まざる曆月に置く。中気を含まざる曆月必ずしもみな閏月とならず。

(7) 西暦2147~2148年

朔	中気	農暦
2147/8/26	秋分[29]	8
2147/9/25	霜降[30]	9
2147/10/25		10
2147/11/23	小雪[1]、冬至[30]	11
2147/12/23	?	閏11
2148/1/21	大寒[1]、雨水[30]	12
2148/2/20	?	正
2148/3/20	春分[1]	2
2148/4/19	穀雨[1]	3

ルール(六)のみ問題になる

(8) 西暦2223~2224年

朔	中気	農暦
2223/8/27	秋分[29]	8
2223/9/25	霜降[30]	9
2223/10/25		閏9
2223/11/23	小雪[1]	10
2223/12/23	冬至[1]	11
2224/1/21	大寒[1]	12
2224/2/20	雨水[1]、春分[30]	正
2224/3/21		2
2224/4/19	穀雨[2]	3

ルール(五)のみ問題になる

(9) 西暦2728~2729年

朔	中気	旧暦/農暦
2728/8/27	秋分[28]	8
2728/9/26	霜降[28]	9
2728/10/25	小雪[29]	10
2728/11/23	冬至[30]	11
2728/12/23		12 閏11
2729/1/21	大寒[1]、雨水[30]	正 12
2729/2/20	春分[30]	2 正
2729/3/22		閏2 2
2729/4/20	穀雨[1]	3

置閏法の違いで閏がずれる (農暦ルールで13か月中の無中気月の最初のものを閏月にして春分が2月にならない最初の事例)

西暦	中国	日本
600前後	定朔定気の皇極暦の提案(不採用)	
1645	時憲暦天經及辰元法(暦元1628年)の採用 定朔定気法の初め	
1685		貞享暦(暦元1684年)の採用
1689-1700	冬至春分間が中一か月	
1726	時憲暦康熙甲子元法(暦元1684年)の採用	
1742	時憲暦雍正癸卯元法(暦元1723年)の採用	
1755		宝暦暦の採用 彼岸の日取りが実定気
1811	御製萬年書の改訂	
1844		天保暦の採用 定朔定気法の初め
1851-1852	冬至春分間が中一か月	
1873		グレゴリオ暦の採用
1909		旧暦の頒布この年まで
1912	中華民国成立 以後、太陰太陽暦は農暦と呼ばれる	『日本百科大辞典』(第六巻)刊行 旧暦ルールの条文化
2033	秋分冬至間が中一か月	2033年問題

『新法暦書続編巻四』に挙げられた事例 (天保暦始行前)

置閏法の違いで閏がずれる (天保暦最初の複雑な事例)